**日本分析化学会　表示・起源分析技術研究懇談会**

**2020年度　第一回　運営委員会**

**日時**2020年 6月 22日（月） ～2020年 7月 3日（金）

**会場**メール会議

**出席者**　　安井明美，力石嘉人,　阿部善也, 有山薫, 伊藤勇二, 岩田祐子, 社藤悦子,鈴木忠直, 鈴木彌生子, 高橋文人, 等々力節子, 八田珠郎, 中野明正, 平野哲, 布藤聡, 保倉明子, 山越昭弘, 山田桂太, 伊永隆史, 鈴木真一,吉田尚弘,

**議題**

2020年度　第一回運営委員会議題を、表１に示す。

表1. 2020年度第一回運営委員会議題及び配付資料

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 議題 | 報告者 | 資料No. |
| 1 | 【報告】R2年度(R2.3.1～)会員動向 | 事務局 |  |
| 2 | 【報告】R1年度(2019年度) 会計収支報告 | 事務局 | 1 |
| 3 | 【報告】第21回講演会（‘19.8.8@電機大）の会計報告書 | 事務局 | 2, 3 |
| 4 | 【報告】第22回講演会／ジョイントシンポジウム（R1.12.2, フクラシア八重洲）の報告 | 鈴木(彌)氏 |  |
| 5 | 【報告】第23回講演会／ジョイントシンポジウム（R2.3.17, 東京電機大学）の延期　　　 | 鈴木(彌)氏 |  |
| 6 | 【報告】第68年会（R1.9.11～13, 千葉大学西千葉キャンパス）の報告 | 事務局 |  |
| 7 | 【報告】第69年会（R2.9.16～18, 名古屋工業大学）現地開催中止・オンライン開催 | 事務局 |  |
| 8 | 【議論】第24回講演会の企画について | 伊藤氏・鈴木(彌)氏 |  |
| 9 | 【報告】運営委員メンバー | 事務局 |  |
| 10 | 【議論】運営委員会および講演会のオンラインシステムの導入 | 鈴木(彌)氏 |  |
| 11 | その他　・内規（案）の承認 |  |  |

各詳細は、後述の通り。（番号. は、議題No.　に対応）

1. 【報告】R2年度(R2.3.1～)会員動向について

個人会員は、1名入会、12名退会(FAMIC：9名含む)で、全46名となった。団体会員は、変動なしで15団体。

1. 【報告】R1年度(2019年度) 会計収支報告

R1年度（2019年度）収支報告書（資料１）を本部へ提出した。繰越残高として2,565,379円あるので、これを有効活用するための案を引き続き検討する必要がある。

1. 【報告】第21回講演会（R1.8.8@電機大）の会計報告書

第21回講演会の収支報告書（資料2）および事業完了報告書（資料3）を本部に提出した。2019年8月8日に東京電機大学にて3講演で開催した。参加費は会員・学生は無料、非会員は1,000円とした。参加者27名のうち8名が非会員であり、収入は8,000円であった。支出は、講師謝金、交通費、アルバイト代などで26,303円となった。講演会の収支は、-18,303円であった。懇親会は、人数が少ないこともあり、飲食店（コース一人2,700円）にて開催した。一般3,000円（13名）、学生（1名）・講師（3名）は無料とし、収支は-6,900円となった。よって、講演会および懇親会での収入は47,000円、支出は72,203円、となり、収支は-25.203円となった。

1. 【報告】第22回講演会／ジョイントシンポジウム（2019.12.2@フクラシア八重洲）について

伊藤氏・鈴木（彌）氏の企画により、フードフォーラム・つくば冬の例会とのジョイントシンポジウムで以下の講演会を開催した。

「マスコミ・消費者視点からの食品 表示制度のこれからと課題について」

【日時】　12月2日(月) 13：15～16：45

【場所】　フクラシア八重洲(東京都中央区)

【内容】・黒坂仁氏(消費者庁)　「食品表示制度の現状について」

・パネルディスカッション『食品表示制度のこれからと課題』- 添加物表示、栄養成分表示、ゲノム編集食品の表示について-

小島 正美 氏（食生活ジャーナリストの会代表）、阿南 久 氏（一般社団法人消費者市民社会をつくる会・ASCON 代表理事）、森田 満樹 氏（一般社団法人Food Communication Compass 代表）、浦郷 由季 氏（一般社団法人全国消費者団体連絡会事務局長）、合瀬 宏毅 氏（NHK解説委員室解説委員主幹）、岡 礼子 氏（毎日新聞くらし医療部記者）

【料金】　会員(無料)、一般(1,000円)

事務手続き（会場の準備、参加者窓口など）および予算（会場費・謝金・交通費など）は、フードフォーラム・つくばの事務局が担当した。当懇談会からは、閉会のあいさつを安井委員長、懇親会でのあいさつを伊藤氏、当日の受付業務の手伝いを社籐氏・鈴木（彌）氏が担当した。開催風景は、フードフォーラムつくばHP（トピックス＞冬の例会終了報告）より閲覧可能である。定員120名で開催し、100名を超える参加者で盛況であった。表示に関する議題であったが、参加者のほとんどがフードフォーラム・つくばの会員であり、当懇談会からの参加者は少なかった。

1. 【報告】第23回講演会／ジョイントシンポジウム（2020.3.17@東京電機大学）の延期について

伊藤氏・鈴木（彌）氏の企画により、フードフォーラム・つくばフードセーフティ分科会とのジョイントシンポジウムで以下の講演会を開催予定であったが、新型コロナの影響で延期（実施するが時期は未定）となった。

「ゲノム編集食品の展望と規制・表示の現状について」

【日時】　3月17日(火) 13：15～16：45　→　**延期（再調整中）**

【場所】　東京電機大学・千住キャンパス

【料金】　無料

【詳細】　<https://www.fft.gr.jp/>（「フードセーフティ分科会講演会」延期のお知らせ）

共催のフードフォーラム・つくばと当懇談会が、シンポジウムの主催可能と判断した段階で、同様の内容で日程を再調整し、開催を予定している。動きがあり次第、事務局・運営委員会へ連絡する。

1. 【報告】第68年会（R1.9.11～13, 千葉大学西千葉キャンパス）の報告について

日本分析化学会第68年会における本懇談会の講演枠において、9月11日に東京大学大学院理学系研究科の高橋嘉夫先生より「同位体比・科学種を用いたエアロゾル中の重金属の起源解析」についてご講演頂いた。

1. 【報告】第69年会（R2.9.16～18, 名古屋工業大学）現地開催中止・オンライン開催

新型コロナウィルス感染症COVID-19について、依然として先行きが見通せない状況にあり、現地開催を取りやめ、Webを利用したオンライン開催とすることとなった。

詳細：　<http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/69/index.html>

1. 【議論】第24回講演会の企画について

**【要議論：第24回講演会の企画に対して積極的にご意見ください】**

次回講演会の企画のご提案をお願いいたします。新型コロナウィルス感染症COVID-19の影響で当面会場での開催が困難と予測されることから、開催時期やオンラインでの講演会の開催も含めてご意見ください。

1. 【報告】運営委員メンバー

６月５日に事務局よりメールにて運営委員の所属内容の確認を行ったので、近日中にHPの情報を更新予定である。主な変更点として、（株）ファスマック原口氏が退任され、後任として、（株）ファスマック布藤聡氏が就任となった。また、以前に退任された農研機構・中野氏が、４月より千葉大学にご転職され、運営委員に就任となった。

1. 【議論】運営委員会および講演会のオンラインシステムの導入

新型コロナの影響で、一つの会場に集まっての集会が難しい状況にあり、大学の授業や会議、セミナーなどがオンラインで行われるようになりつつある。当懇談会も会議や講演会のオンライン開催を視野に入れて準備を進めることが必要と考えられる。導入への可否や

・ソフトウェアについて

Zoomが使いやすく、ユーザーが多い。参加者はミーティングに参加する際にZoomアカウントを必要とせず、PCやスマートフォン・タブレットなどからミーティングに参加することができる（参考URL: https://zoom.us/pricing）。Zoom以外にも、SkypeやTeamsなども使われているが、事務局のある東京電機大学が主にZoomを使用しており、表示起源の事務局として、ホスト可能であることからも、Zoomが最有力候補と考えられる。

・メリット

当懇談会は関東での開催がメインであったが、オンライン化によって、遠方からも参加が容易となる。また、力石先生など遠方の運営委員の方々も参加しやすくなる。

・デメリット

セキュリティ面での問題（個人情報・講演内容の録画の可能性など）

・講演会のオンライン開催方法

ライブ形式：特定の時間帯にライブ方法で講演会を開催する

オンデマンド形式：対象者、閲覧期間などを制限し、講演会のビデオを配信する。「閲覧」のみとすることでダウンロードできないように設定可能。

**【要議論：オンライン化に対して積極的にご意見ください】**

**運営員会や講演会のオンライン化への可否、問題点などご意見ください。**

1. その他

・内規（案）の承認

**内規（案）について、内容（赤字部分が変更点）を確認し、承認をお願い致します。**

【内規】

＜運営委員会＞

・本会の運営委員会は、委員長1名，副委員長１名，委員 若干名および参与によって運営される。

・（参与）本会に運営委員会の推薦によって参与をおくことができる。参与は本会を援助し、事業に関して助言を与える。参与は会費の支払いが免除される。（支払いの免除は、2020年度より）

・（任期）委員長，副委員長，および運営委員の任期は２年とする。（2018年度より）

＜会員＞

・２年間会費未納の場合は、自動的に退会扱いとする。